

平成23年第2回由利本荘市議会臨時会(3月)会議録

平成23年3月29日(火曜日)

議事日程第1号

平成23年3月29日(火曜日)午前10時開会

第1. 会議録署名議員の指名

第2. 会期決定

第3. 提出議案の説明

議案第91号及び議案第92号 2件

第4. 議案第91号 由利本荘市副市長の選任について

第5. 提出議案に対する質疑

第6. 提出議案の委員会付託(付託表は別紙のとおり)

第7. 委員長審査報告

第8. 議案第92号 平成23年度由利本荘市一般会計補正予算(第1号)

本日の会議に付した事件

議事日程第1号のとおり

出席議員(29人)

1番 伊藤 岩 夫	2番 渡 部 聖 一	3番 佐々木 隆 一
4番 佐藤 譲 司	5番 大 関 嘉 一	6番 作佐部 直
7番 湊 貴 信	8番 高 橋 信 雄	9番 若 林 徹
10番 高 橋 和 子	11番 堀 友 子	12番 佐藤 勇
13番 今 野 晃 治	14番 今 野 英 元	15番 堀 川 喜久雄
16番 渡 部 専 一	17番 長 沼 久 利	18番 伊藤 順 男
19番 佐藤 賢 一	20番 鈴木 和 夫	21番 井 島 市太郎
22番 齋 藤 作 圓	23番 佐々木 勝 二	24番 本 間 明
25番 佐々木 慶 治	26番 土 田 与七郎	28番 村 上 亨
29番 三 浦 秀 雄	30番 渡 部 功	

欠席議員(1人)

27番 佐藤 竹 夫

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者

市 長	長谷部 誠	副 市 長	村上 健 司
副 市 長	藤 原 由美子	教 育 長	佐々田 亨 三
企 業 管 理 者	藤 原 秀 一	総 務 部 長	土 田 隆 男
企画調整部長	小 松 慶 悦	市民福祉部長	荘 司 和 夫
農林水産部長	小 松 秀 穂	商工観光部長	渡 部 進

建設部長	熊谷幸美	矢島総合支所長	植村清一
岩城総合支所長	今野光志	由利総合支所長	三浦貞一
大内総合支所長	鈴木一	東由利総合支所長	工藤良
西目総合支所長	加賀秀喜	鳥海総合支所長	土田修
消防長	土田喜一郎		

議会事務局職員出席者

局長	伊藤篤次	長	遠藤正人
書記	高橋知哉	書記	石郷岡孝
書記	鈴木司	書記	今野信幸

午前10時01分開会

議長（渡部功君） おはようございます。ただいまより、平成23年3月23日告示召集されました、平成23年第2回由利本荘市議会臨時会を開会いたします。

27番佐藤竹夫君より欠席の届け出があります。

出席議員は29名であります。出席議員は定足数に達しております。

この際、御報告申し上げます。地方自治法第121条の規定により、提出議案の説明のため、市長の出席を求めています。

また、会期中、議案関係職員の出席を求める場合もあります。

さて、今臨時会にただいままで提出されました案件は、議案第91号由利本荘市副市長の選任について及び議案第92号平成23年度由利本荘市一般会計補正予算（第1号）の計2件であります。

これより本日の議事に入ります。本日の議事は、日程第1号をもって進めます。

議長（渡部功君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第81条の規定により、会議録署名議員に24番本間明君、25番佐々木慶治君を指名いたします。

議長（渡部功君） 日程第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。今臨時会の会期は、議会運営委員会において、本日1日と定めましたが、これに御異議ございませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

議長（渡部功君） 御異議なしと認めます。よって、会期は本日1日と決定いたしました。

議長（渡部功君） 日程第3、提出議案の説明を行います。

この際、議案第91号及び議案第92号の2を一括上程し、市長の説明を求めます。長谷部市長。

【市長（長谷部誠君）登壇】

市長（長谷部誠君） おはようございます。それでは、提出議案の説明に入ります前に、諸般の報告を申し上げます。

初めに、1月20日に設置しました由利本荘市豪雪対策本部であります。2月に入ってから降雪も落ち着き、また雪解けも進み、積雪深が低下してきましたことから、3月14日をもって廃止いたしました。

次に、3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震につきましては、3月18日の市議会定例会最終日に御報告しておりますが、本市におきましては、人的・物的にも大きな被害はなかったことから、3月22日をもって災害警戒室へ移行し、各種の情報収集に努めているところであります。

なお、その後、親子都市であります福島県いわき市へは、3月23日に第3次輸送として米や飲料水などの支援物資の輸送を実施しており、今後もいわき市の渡辺市長と連絡を密にしながら、支援してまいりたいと存じております。

一方、災害相互援助協定を結んでおります北東北地域連携軸構想推進協議会の支援については、秋田県側の構成4市で協議し、第2次輸送として3月25日に釜石市へ米や缶詰を搬送するとともに、本日29日には、第3次輸送として大船渡市に米や衛生用品を搬送する予定であります。

また、このたびの地震に係る被災者を受け入れるため、3月22日に由利本荘市被災者支援本部を新たに設置し、被災者受入施設の調整や健康相談、生活支援などに当たっているところであり、昨日の16時現在、48世帯142人が本市に一時的に避難している状況であります。

被災者の皆様の受け入れにつきましては、今後の状況にもよりますが、福島県で避難指示を受けた地域や岩手・宮城両県で津波による家屋等被害を受けた方々など、多くの避難者が想定されることから、4月早々に避難者対応を専門に行う被災者受入支援チームを鶴舞会館内に設置し、社会福祉協議会などの関係機関と連携を密にしながら、その対応に万全を期してまいりますので、市民の皆様並びに議員各位の御理解と御協力をよろしく願います。

次に、本市の水道水の放射能濃度測定結果についてであります。

市では、3月24日に各浄水場や市内11カ所で採水を行い、放射能の濃度測定を実施いたしましたが、水道水から放射能物質は検出されておられません。

今後も、状況を見ながら必要に応じて、引き続き測定を行ってまいります。

市民の皆様には、安全な水道水の供給に努めてまいりますので、これまで同様に御利用していただきたく存じます。

次に、消防の広域化についてであります。

消防の広域化につきましては、昨日3月28日に開催されました、にかほ市との広域化協議会において、2市の地域事情の違いにかんがみて、それぞれ現在の消防体制を維持する必要があり、平成24年度までの広域化は、時期尚早であるとの合意に至ったところであります。

このことから、広域化協議会は休止することとなりましたが、今後も災害時の連携を図り、市民の安全・安心に努めてまいります。

以上で報告を終わります。

それでは、提出議案の説明を申し上げます。

このたびの第2回市議会臨時会に提出しました案件は、人事案件1件、補正予算1件の

計2件であります。

初めに、議案第91号由利本荘市副市長の選任についてであります。

これは、村上副市長が3月31日付で退任されることに伴い、空席となります副市長に、渡部慶一氏を選任いたしたく提案申し上げるものであります。

同氏の略歴につきましては、お手元に配付いたしました履歴書にありますとおり、昭和49年4月から毎日新聞社に勤務され、長年にわたり報道の道を歩んで来られ、さまざまな活動を通じて時代の創造に貢献してきた方であり、知識・経験とも非常に豊富であると同時に人望も厚く誠実な方で、本市のまちづくりにお力添えをいただきたいと考え、地方自治法第162条の規定により、市議会の皆様の同意をお願いするものであります。

なお、御同意いただいた後は、4月1日付で選任したいと考えております。よろしく御審議の上、御同意くださいますようお願い申し上げます。

次に、議案第92号平成23年度一般会計補正予算（第1号）であります。

このたびの補正につきましては、国・県の施策に連動する費用や東北地方太平洋沖地震対応費用など、早期に着手すべき事業費について補正をお願いするものであります。

主な内容としましては、総務費では、庁舎非常用電源配線修繕費のほか、秋田県緊急雇用創出臨時対策基金を活用したケーブルテレビ伝送路の雪害確認に要する費用を追加しようとするものであります。

民生費では、子ども手当及び児童手当のシステムデータ移行に要する費用を追加しようとするものであります。

衛生費では、胃がん検診助成事業に要する費用、子宮頸がん等予防接種委託料のほか、住民生活に光をそそぐ交付金基金を活用したバイオマス利活用推進事業並びに健康相談事業に要する費用を追加しようとするものであります。

農林水産業費では、農業生産施設等豪雪災害復旧事業費補助金を追加しようとするものであります。

商工費では、住民生活に光をそそぐ交付金基金を活用した産学共同研究開発助成金を追加しようとするものであります。

消防費では、防災無線システム移設費用のほか、東北地方太平洋沖地震に対応し、被災者受入費用を追加しようとするものであります。

教育費では、住民生活に光をそそぐ交付金基金を活用した日本語学習支援事業に要する費用を追加しようとするものであります。

また、今後の被災者支援に備え、予備費を追加しようとするものであります。

歳入につきましては、県支出金のほか、繰入金及び繰越金を充て、歳入歳出それぞれ3億8,931万6,000円を追加し、補正後の歳入歳出予算総額をそれぞれ446億5,931万6,000円にしようとするものであります。

以上が、第2回市議会臨時会に提出いたしました議案の概要でありますので、よろしく御審議の上、御決定くださいますようお願い申し上げます。

以上でございます。

議長（渡部功君） これにて提出議案の説明を終わります。

この際、お諮りいたします。議案第91号由利本荘市副市長の選任については、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ございません

んか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

議長（渡部功君） 御異議なしと認めます。よって議案第91号については、委員会付託を省略することに決定いたしました。

重ねてお諮りいたします。議案第91号については、質疑、討論を省略したいと思います。これに御異議ございませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

議長（渡部功君） 御異議なしと認めます。よって議案第91号については、質疑、討論を省略することに決定いたしました。

議長（渡部功君） 日程第4、議案第91号由利本荘市副市長の選任についてを議題といたします。

本案については、直ちに採決いたします。本案の採決は、無記名投票をもって行います。これに御異議ございませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

議長（渡部功君） 御異議なしと認めます。よって本案の採決は、無記名投票をもって行うことに決定いたしました。

議場の閉鎖を命じます。

【今野書記議場閉鎖】

議長（渡部功君） ただいまの出席議員は、議長を除く28名であります。念のため申し上げます。原案に同意する諸君は「賛成」と、原案に不同意の諸君は「反対」と記載の上、点呼に応じて順次投票をお願いいたします。

なお、それ以外の記載については、否とみなします。

また、投票中、賛否を表明しない投票及び賛否が明らかでない投票は、会議規則第73条第2項の規定により、否とみなします。繰り返します。原案に同意する諸君は「賛成」と、不同意の諸君は「反対」と記載してください。

これより投票を行います。

投票用紙を配付いたします。

【高橋、石郷岡、鈴木、今野書記投票用紙配付】

議長（渡部功君） 投票用紙の配付漏れはありませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

議長（渡部功君） 配付漏れなしと認めます。投票箱を改めさせます。

【高橋書記投票箱確認】

議長（渡部功君） 異常なしと認めます。

点呼を命じます。

【遠藤次長の点呼に応じ各議員投票】

議長（渡部功君） 投票漏れはありませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

議長（渡部功君） 投票漏れなしと認めます。投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

【今野書記議場開鎖】

議長（渡部功君） これより開票を行います。この際、会議規則第31条第2項の規定により、立会人に7番湊貴信君、10番高橋和子さん、15番堀川喜久雄君の3名を指名いたします。よって、3名の諸君の立ち会いをお願いいたします。

【立会人湊貴信君、高橋和子君、堀川喜久雄君の立ち会いの上、  
遠藤次長、石郷岡書記開票】

議長（渡部功君） 投票の結果を御報告いたします。

投票総数28票。これは先ほどの出席議員数に符号しております。

そのうち有効投票28票、無効投票ゼロ票。

有効投票中、賛成25票、反対3票であります。

以上のとおり、原案に同意する諸君が多数であります。よって議案第91号由利本荘市副市長の選任については、同意することに決定いたしました。

ただいま同意されました渡部慶一氏がお見えになっておりますので、ごあいさつをお願いいたします。

【渡部慶一君 登壇】

渡部慶一君 御同意いただきまして、まことにありがとうございます。微力ではございますが、誠心誠意、精いっぱい頑張る決意でございますので、よろしく御指導をお願い申し上げます。（拍手）

議長（渡部功君） 日程第5、これより提出議案に対する質疑に入ります。

提出議案に対する質疑の通告は、休憩中に議会事務局へ提出していただきます。

この際、暫時休憩いたします。

午前10時29分 休 憩

.....  
午前10時30分 再 開

議長（渡部功君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

これより議案第92号を議題とし、質疑を行います。

ただいままでのところ、質疑の通告はありません。

質疑ありませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

議長（渡部功君） 質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

議長（渡部功君） 日程第6、提出議案の委員会付託を行います。

お手元に配付いたしております付託表のとおり、各常任委員会に付託いたします。

この際、委員会開催のため暫時休憩いたします。

午前10時31分 休 憩

.....  
午後 1時16分 再 開

議長（渡部功君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

この際、議案第92号を上程し、日程第7により各常任委員会の審査の経過と結果につい

て、委員長より報告を求めます。

なお、委員長報告に対する質疑は、案件に入ってからこれを許します。

最初に、総務常任委員長の報告を求めます。28番村上亨君。

**【総務常任委員長（村上亨君）登壇】**

総務常任委員長（村上亨君） 総務常任委員会の審査の結果を御報告申し上げます。

このたびの臨時会におきまして、当常任委員会に審査付託になりました案件は、補正予算1件であります。

審査の結果につきましては、お手元に配付されております報告書のとおりであります。審査の経過と概要を御報告申し上げます。

議案第92号平成23年度一般会計補正予算（第1号）であります。当常任委員会に審査付託になりましたのは、歳入では15款、18款及び19款、歳出では2款、9款及び14款であります。

まず、歳入では、15款県支出金において、東北地方太平洋沖地震被災者受入補助金の追加、18款繰入金において、住民生活に光をそそぐ交付金基金繰入金の追加であり、また、財源調整として、19款繰越金を増額しようとするものであります。

次に、歳出では、2款総務費において、庁舎非常用電源配線の修繕に要する経費及び秋田県緊急雇用創出臨時対策基金事業として、ケーブルテレビ伝送路の雪害確認に要する経費を追加しようとするものであります。

9款消防費では、防災行政無線移設に要する経費及び東北地方太平洋沖地震対策費として、被災者受け入れに要する経費などを追加しようとするものであります。

14款予備費は、今後の被災者支援などに備えて追加しようとするものであります。

以上のとおり、この補正予算の当常任委員会付託分につきましては、新年度早期に着手すべき事業費であることから、提案の趣旨を了とし、原案のとおり可決すべきものと決定した次第であります。

以上で総務常任委員会の審査報告を終わります。

議長（渡部功君） 次に、教育民生常任委員長の報告を求めます。17番長沼久利君。

**【教育民生常任委員長（長沼久利君）登壇】**

教育民生常任委員長（長沼久利君） 教育民生常任委員会の審査の結果を御報告申し上げます。

今臨時会におきまして、当常任委員会に審査付託になりました案件は、補正予算1件であります。

なお、審査の結果につきましては、お手元に配付されております報告書のとおりであります。審査の経過と概要について御報告申し上げます。

議案第92号平成23年度一般会計補正予算（第1号）についてであります。当常任委員会に審査付託になりましたのは、歳入15款と、歳出3款、4款、10款についてであります。

初めに、歳入についてであります。15款県支出金において、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金の追加が主なものであります。

次に、歳出についてであります。3款民生費では、2項児童福祉費において、子ども手当及び児童手当システムのデータ移行に要する経費の追加であります。

4款衛生費では、1項保健衛生費において、住民生活に光をそそぐ交付金基金を活用し、

自殺予防対策に係る健康相談電話委託料及び循環型社会の形成に係るバイオマス利活用推進事業補助金を追加するほか、胃がん検診助成事業に要する経費及び子宮頸がん等予防接種委託料の追加であります。

なお、子宮頸がん等予防接種委託料につきましては、ワクチン不足等により、22年度未実施の部分の追加であります。

また、2項清掃費においては、ごみ処理施設整備事業に係る先進地視察が東北地方太平洋沖地震により延期になったことから、改めてごみ処理施設先進地視察旅費を追加するものであります。

10款教育費では、5項社会教育費において、住民生活に光をそそぐ交付金基金を活用し、日本語教室の講座を9カ月から12カ月にふやすなど、日本語学習支援事業に要する経費の追加が主なものであります。

以上、御報告申し上げました一般会計補正予算につきましては、提案の趣旨を了とし、原案のとおり可決すべきものと決定した次第であります。

以上で審査の報告を終わります。

議長（渡部功君） 次に、産業経済常任委員長の報告を求めます。12番佐藤勇君。

【産業経済常任委員長（佐藤勇君）登壇】

産業経済常任委員長（佐藤勇君） 産業経済常任委員会の審査の結果を御報告申し上げます。

今臨時会において、当常任委員会に審査付託になりました案件は、補正予算1件であります。

審査の結果につきましては、お手元に配付しております報告書のとおりであります。審査の経過と概要について御報告申し上げます。

議案第92号平成23年度一般会計補正予算（第1号）であります。当常任委員会に審査付託になりました主な内容を御報告申し上げます。

まず歳入であります。15款県支出金につきましては、緊急雇用創出臨時対策基金事業費補助金及び雪害復旧支援対策事業費補助金を追加しようとするものであります。

続いて歳出であります。

6款農林水産業費につきましては、今冬の豪雪で倒壊または破損したパイプハウスなど、農業生産施設等の補修・更新に要する経費補助として1億2,934万7,000円を追加しようとするものであります。

7款商工費につきましては、住民生活に光をそそぐ交付金基金を活用し、新産業の創出により地域経済の活性化と雇用の拡大を図るため、市内に事務所・工場等を有する中小企業等が県内の大学や公設試験機関等と連携して行う新技術や新製品の研究開発事業にかかわる補助金2,000万円を追加しようとするものであります。

また、今後の市の観光ツアー企画のために、旅行エージェントに来ていただき、市の観光PRを行い、中国無錫市から観光客の誘客を図る経費として79万1,000円を追加しようとするものであります。

以上、御報告申し上げました本補正予算の当常任委員会付託分につきましては、提案の趣旨を了とし、原案を可決すべきものと決定した次第であります。

以上で審査の報告を終わります。

議長（渡部功君） 以上をもって、委員長審査報告を終わります。

これより、委員長報告に対する質疑、議案についての討論、採決を行います。

議長（渡部功君） 日程第8、議案第92号平成23年度由利本荘市一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。

各常任委員長の報告は、原案を可決すべきものとしております。

委員長報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

議長（渡部功君） 質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

議長（渡部功君） 討論なしと認めます。

採決いたします。本案は、委員長報告のとおり決定して御異議ございませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

議長（渡部功君） 御異議なしと認めます。よって議案第92号は、原案のとおり可決されました。

この際、お諮りいたします。今臨時会において議決されました議案において、その字句、条項、数字、その他文案等の整理を要するものについては、その整理を議長に委任されたいと思います。これに御異議ございませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

議長（渡部功君） 御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

重ねてお諮りいたします。各委員会の所管に関する事項については、閉会中も調査検討したいと思います。これに御異議ございませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

議長（渡部功君） 御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

議長（渡部功君） 以上をもって今臨時会の付議事件は、すべて終了いたしました。

ここで、村上副市長より発言を求められておりますので、これを許します。村上副市長。

【副市長（村上健司君）登壇】

副市長（村上健司君） 議会の最終日まで1年10カ月という大変短い期間でございましたけれども、市民の皆様それから議員各位に大変お世話になり、ありがとうございました。

今、改めて振り返ってみますと、県から来て、市町村行政というのは、やはり住民に一番身近な行政であるということ強く感じた次第であります。住民に一番身近であるからいろいろな困難なこともありました。けれども、住民に一番身近なということで、住民のニーズをくみ上げて、いろいろな施策やら事業を展開することもできました。そういう意味では、私にとっては、県の仕事とは違う意味で大変やりがいと充実感を覚えた日々でございました。

個人的な考えでございますけれども、やっぱり市町村行政というのは、今回の大災害などを見ましても、やはり地方自治の原点であります。最前線であるというふうに改めて思っております。国・県からおりてくる仕事もございましてけれども、やはりこれからの市町

村というのは、みずから地域の実情に応じて、国・県とは違う独自の施策事業を積極的に展開していくべきだろうというふうに考えているところでございます。財源やら権限移譲の課題はありますけれども、これからは、そういう時代に間違いなくなっていくだろうというふうに私は思っております。

任期中は、いろいろな機会におきまして、市民の皆様、議員各位それから関係団体等の皆様と率直な意見交換をさせていただきました。この経験は私個人にとりましても、これから行政を仕事としていく上で、大変貴重な財産になっているというふうに考えております。県庁に戻りましても、この経験を常に忘れずに仕事に当たってまいりたいというふうに考えているところでございます。

結びになりますけれども、由利本荘市でできましたこのきずなを大切にしながら、プライベートにおきましても、議員の皆様、市民の皆様とも交流を、振興を深めてまいりたいというふうに考えておりますし、これから由利本荘市がますます、さらに発展しますことを御祈念申し上げますとともに、皆様の御健勝も御祈念申し上げまして、私の退任のあいさつとさせていただきます。本当にありがとうございました。(拍手)

議長(渡部功君) 由利本荘市議会として、一言お礼申し上げます。

村上副市長におかれましては、平成21年6月に就任以来、合併間もない本市発展のため、一身をなげうって御尽力いただきましたことに、厚く感謝申し上げます。

秋田県庁に戻られましても、一層の御活躍を期待申し上げますとともに、本市の発展に引き続き御指導賜りますようお願い申し上げます。

また、3月31日をもって退職されます職員の方々におかれましては、長年にわたり地方公務員として、地域の発展、住民の福祉向上に御努力をいただきましたことに、心より敬意を表し感謝を申し上げます次第であります。

村上副市長、そして退職されます職員の皆様方、本当にありがとうございました。

議長(渡部功君) これをもちまして、平成23年第2回由利本荘市議会臨時会を閉会いたします。大変御苦労さまでした。

午後 1時33分 閉 会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

由利本荘市議会議長 渡部 功

議員 本間 明

議員 佐々木 慶治